

舞踊をすれば

人生が変わる

取材のために小倉北区の自宅に伺い、扉を開けてくれた時の動作。「どうぞ」と笑顔で椅子を勧めてくれた手つき。取材中のピンと伸びた背筋。日本舞踊家で藤間流師範の藤間裕志朗さん(70)。「本名・山口博子さん」の所作は、こちらをほっとさせるほどりりしい。「舞踊をする」と、日常の動きが変わってきますよ」とほほ笑む。

若松区出身。学生時代は「日本舞踊はなまよとして器械体操をしていて、日本 いるようなイメージを持つ舞踊とは無縁だった。転機 っていたのですが、舞踊にスは29歳の時。偶然知り合った藤間流の師範に誘われ稽古を見学し、初めて間近で見た舞踊に衝撃を受けた。

教室に通い始めた。40歳を過ぎ、子育てが一

「30年教え続けたい」

段落すると、舞踊を教える立場を目指し、稽古に一層励むようになった。そして数年後、師範の資格を取得。現在、北九州市などの教室で、約40人の弟子に教えている。

「立ったり座ったり、食事をしたり、人を手招きしたりといった日本人の日常のしぐさが洗練され、日本舞踊につながっています。日本の伝統的な型と魂によって、日本舞踊はつくられ



「日本舞踊は私の生き方そのもの」と話す藤間裕志朗さん



ているんです」。生き生きとした口調で、その魅力を解説する。

5年前から、北九州の商業施設などからの依頼で、地元の夏祭りや踊られる3曲に振り付けをした。2012年には「わっしょい百万夏まつり」で踊られる「いっっちゃ ええっちゃ 北九州」の振り付けも担当。地域の盆踊りでも踊られているという。

「子どもや高齢者、車いすの人も踊りやすいように、上半身を主に使うシンプルな振り付けにしまし

た。「百万夏まつり」で約1万人が踊る姿を見た時は、感動しました」

地元のみならず、活動は海外にも広がっている。12年からはイタリアや韓国、フランスなどでも踊りを披露。後進の育成を含め、日本舞踊を広める取り組みに情熱を注ぐ。

「舞踊を通して日本人として生きる気力や体力を磨き、広く発信していつてもらいたい。あと30年は元気で教え続けたいんです」。こう力を込める藤間さん。私に向かっても、目を輝かせて呼び掛けた。「日本舞踊をしてみませんか？ 人生が変わりますよ」

(藤原賢吾)

西日本文化サークル

きょうの講座

サンリブ折尾(601-1060)

子供習字▽合気道(大人・子供)▽パソコン▽小原流▽陶芸

サンリブ天神(611-1100)

カワイピアノ(大人・子供)▽セイハ子供英会話▽合気道

サンリブ折尾(601-1060)

カワイピアノ(大人・子供)▽セイハ子供英会話▽合気道

サンリブ折尾(601-1060)

カワイピアノ(大人・子供)▽セイハ子供英会話▽合気道

J:COMチャンネル北九州 11ch	
7.45	ガンガン!ホークスDX 「安田選手インタビュー」
9.15	ウィークリーニュース
11.30	極限のクルマ技術
12.00	ぐるっとJ:COM探検隊 「プロレスラーと遊ぼう」
1.15	テレビdeホームドクター 「肥満症」
3.00	釣りたっ!

しなやかな舞踊を披露する藤間裕志朗さん

